

DAWN

来日公演

入場無料



みなさんは知っていますか? 日本人を親に持ちながら、 離散した家族のことを・・・

複雑な社会問題に巻き込まれた、日本とフィリピンにルーツを持つ子どもたち(JFC=Japanese-Filipino Children)は、様々な葛藤を抱えています。その思いを、演劇という芸術の舞台上で表現する少年少女のひたむきな姿を是非ご覧ください。

JFCとは・・・

JFC(=Japanese-Filipino Children)は、日本とフィリピンの2つの国にルーツを持つ子どもたちである。近年、フィリピン人女性と日本人男性との結婚が増え、JFCの数は増加している。うまくいっているケースもあるが、中にはフィリピンと日本で親子が離れ離れになっていたり、父親が誰か分からなかったりといったケースもある。この問題が大きな社会問題として近年クローズアップされており、様々な取り組みがなされている。京都大学でも、小中学校でのJFCへの学習支援ボランティアや、海外派遣プログラムなどの取り組みを行っている。

主催
安里研究室・京都大学アジア研究
教育ユニット (KUASU)
問い合わせ先
socioenglish@gmail.com

2018年 5月15日(火)
13:00~14:30

12:30 会場
文学部地下大会議室

第1部 イン트로ダクション

DAWNの紹介と、日本とフィリピンの間における様々な問題を子どもたちと一緒に考えます。

13:00~13:30

第2部 演劇

THE CRANEDOG -クレーンドッグ-

13:30~14:20

あらすじ

物語は1匹の雌犬と鶴の運命的な出会いから始まります。彼らは2種類の異なる生き物にもかかわらず、お互いに恋に落ちます。しかしながら、鶴が雌犬を置いて自分の地へと帰らなければいけないときが来ます。別れの後、雌犬は1匹の雄犬と出会い結婚します。雄犬は雌犬が自分の子ではない子どもを妊娠している事実を受け入れ、雌犬は鶴の間に出来たクレーンドッグを出産します。そんなクレーンドッグは成長するにしたがって、自分自身のアイデンティティーについて深く悩み始めるようになり、母親から自分の本当の父親が鶴であることを知らされ、ついに家を出て、本当の父親を探しに行くことを決心するのです。

「クレーンドッグ」は多くのJFCの人生を描いた物語。
これは劇ではなく、現実なのです。